

国際協力理解出前講座 (県内CSO講師派遣・紹介事業)

～国際協力理解出前講座とは～

県内には様々な国際交流・国際協力活動を推進しているCSO（市民社会組織）が多数あります。県民の皆さんの国際交流・協力への理解を深めることを目的に、これらのCSO団体との連携による海外経験豊富な日本人講師の派遣・紹介も行ってまいります。

講座のテーマは以下の通りですが、講座中のゲームやワークショップなどの詳細内容や費用等については、SPIRAホームページにてご確認のうえ、A) 多文化共生理解出前講座と同様の方法でお申込みください。

県内CSOの講師紹介による講座テーマ(例)

名称・概要	講座テーマ (例)
特定非営利活動法人 愛未来 フェアトレードの普及推進とスリランカやパラオとの友情の絆づくりに取り組んでいます。	①フェアトレードタウンをめざして！ ②日本とスリランカやパラオとの歴史上のかかわりと友情の絆
空飛ぶ捜索医療団 (ARROWS 公益社団法人Civic Force) 国内外の災害時に捜索救助隊と医療従事者を現地派遣しています。	①災害にそなえよう、生き抜くために ②災害から自分を守る、家族を守る、地域を守る
認定特定非営利活動法人 カンボジア教育支援フロム佐賀 カンボジアで「学びたい子どもたち」の教育支援をしている団体です。	①教育を受けて子どもはどう変わったか ②カンボジアの昔と今 ③カンボジアってどがんとこ？
佐賀県ユニセフ協会 世界の子どもたちの健康と未来のために、広報活動と募金活動を行っています。	①「子どもの権利」について考えよう ②「SDGs 学習」を通して、自分にできることを考えよう ③世界の子どもたちの現状とユニセフ活動について
佐賀ユネスコ協会 平和と国際理解、国際協力、地域の文化と伝統を守る活動を行っています。	①ユネスコの活動紹介 ②世界の子どもたちの暮らしの紹介
独立行政法人 JICA九州 (JICAデスク佐賀) 開発途上国への国際協力を行う日本の政府開発援助 (ODA) を一元的に行う機関です。 佐賀県海外協力協会 JICAが実施するJICA海外協力隊のO・B・OGによる任意団体です。	①様々な分野で活躍したJICA海外協力隊体験談 ②世界の現状を体感しながら学ぶ参加型ワークショップ
認定特定非営利活動法人 地球市民の会 ミャンマー等での国際協力や県内での国際交流に取り組む、佐賀で生まれて35年目のNGOです。	①ミャンマーでの農村開発について ②NGOで働くことは ③世界の貧困～国内やアジアの事例から～
認定特定非営利活動法人 テラ・ルネッサンス アフリカやアジアの紛争被害者の自立支援を行うNGOです。	①【講演】(1時間)世界の紛争と私たちの生活のつながりを知る～世界の紛争の解決のために、わたしたちにできることを考えよう～ ②【ワークショップ】(2時間)「あなたのスマホが紛争のきっかけになる？」360度映像を活用した参加型ワークショップ～子ども兵の問題を解決するために自分たちにできることを考える～
特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan) 日本生まれの国際NGOで、国内外で困難な状況の人々に寄り添う支援を行っています。	①国際協力・国際支援とは ②難民問題とは ③NGOで働くとは

まずはお気軽にお電話ください

【申込方法】
所定の申込書（裏表紙）にご記入のうえ、講座実施日 1 か月前までに事務局まで FAX・メールにてお申し込みください。

※所定の申込書は当協会のホームページでもダウンロード可能です。
※申込書に記載された日程や内容によっては、ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

(公財) 佐賀県国際交流協会 〒840-0826 佐賀市白山 2-1-12 佐賀商工ビル 1 階
FAX : 0952-26-2055 E-Mail : info@spira.or.jp HP : https://www.spira.or.jp/

0952-25-7921
平日 9:00～17:15

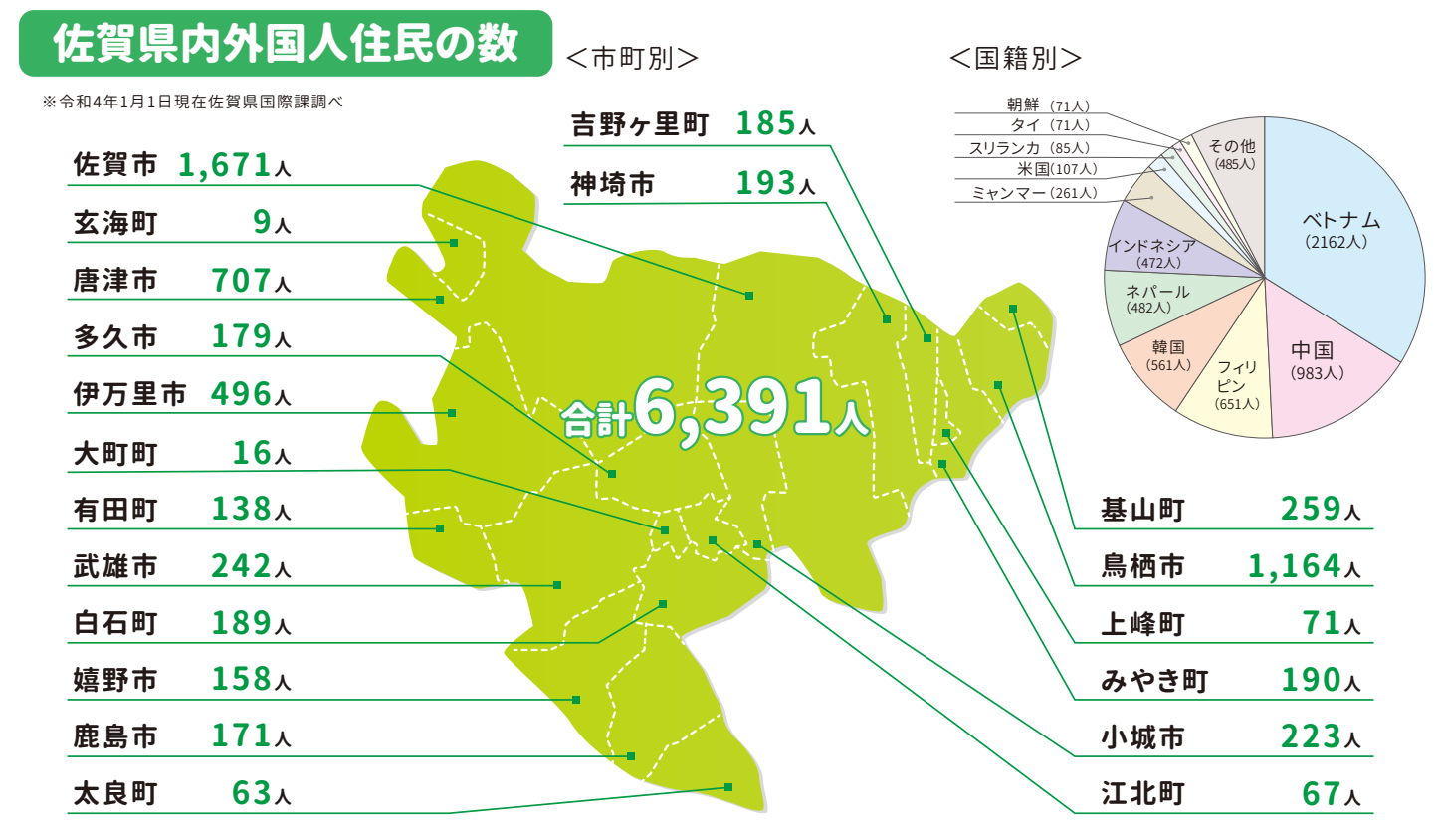
地球発見隊出前講座 申込書

公益財団法人 佐賀県国際交流協会 理事長 様

申込日： 年 月 日 ()

申込み団体名	申込講座名	A <input type="checkbox"/> 多文化共生理解出前講座 (外国人講師・SPIRA職員) B <input type="checkbox"/> 国際協力理解出前講座 (日本人講師)
団体種別 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 公共機関 <input type="checkbox"/> 民間団体 <input type="checkbox"/> 幼稚園・保育園 <input type="checkbox"/> その他	申込回数	A (3回まで) 回 B 回
住所	実施日時	年 月 日 曜日 時間 1回目: ~ ~ 2回目: ~ ~ 3回目: ~ ~
代表者	担当者	人数 学年・年齢構成等 1回目: 人 2回目: 人 3回目: 人
E-mail	受講者	1回目: 人 2回目: 人 3回目: 人
電話番号 (携帯可)	希望講師人数・出身国	希望講師人数 (各回2名まで・出身国) 1回目: 人 () 2回目: 人 () 3回目: 人 ()
FAX <input type="checkbox"/> 無	移動方法	A 利用実績 年度 国名 B 実施日時 年月日(曜日) 〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分
実施会場 会場名: _____ 所在地: _____ 電話: _____ 最寄駅: _____ 駅	A 経費 (注1) 講師派遣の場合: <input type="checkbox"/> 交通費負担について了承しました 交通費: 円 支払方法: _____ 講師紹介の場合: <input type="checkbox"/> 謝礼と交通費の負担について了承しました 謝礼: 円 交通費: 円 支払方法: _____ ※講師のマイナンバーが必要な場合、必ず事前にお知らせください。 B 経費 ・県内CSOに要する経費は、各団体に確認が必要です	B 希望講師派遣団体名・人数 希望講師派遣団体名 _____ 希望講師人数 _____ B 受講者 人数 _____ 学年・年齢構成等 _____ A・B 事前打合せ ① <input type="checkbox"/> 必ず面会による打合せを希望する 【希望打合せ日時】 ② <input type="checkbox"/> 電話やメールによる打合せを希望する ※原則、申込団体及び講師とも初めてではない場合、②をお願いします。
<p>(注1) A 多文化共生理解出前講座 (外国人講師) において、 ・実施目的が語学講座や料理交流会等の異文化理解との関連性が希薄の場合、講師紹介のみとさせていただきます。(謝礼や交通費等は貴団体の負担) ・実施目的が国際交流や異文化理解と関連性が高い場合、講師派遣とさせていただきます。(講師謝金は当協会負担) ・協会職員への派遣に関しては、謝礼や交通費はかかりません。</p>		
講座名 (テーマ)	[実施目的]	
[話してほしい内容を具体的に教えてください]		
[その他 (ご要望等)]		
<p>〈申込み先・問合せ先〉 佐賀県国際交流協会 TEL: 0952-25-7921 FAX: 0952-26-2055 本申込用紙は当協会のHPでもダウンロード可能です。ご利用ください。</p>		

地球発見隊 出前講座 実施ガイド



A 多文化共生理解出前講座 (外国人講師派遣・紹介及びSPIRA職員派遣事業)

～多文化共生理解出前講座とは～

県内にある保育・幼稚園、小・中学校・高等学校、公民館など営利を目的としない団体に、主に**県内の外国人住民を中心に講師として派遣**または紹介します。外国人講師が行うプレゼンテーションやゲーム等の活動を通して、異文化理解を深め、佐賀に住む外国人とのつながりを直接感じることができます。また、SPIRA職員派遣事業では、県内外国人住民の現状、やさしい日本語などを中心に、多文化共生社会づくりを目指すために必要なことをお伝えします。

外国人住民がますます増えていくことが予想される県内において、外国人の視点からの話を聞き、同じ地域住民としてどのように共生していくのかを考えていただける講座を目指しています。

外国人講師派遣・紹介

～利用できる内容～

内容 1

- 異文化理解がメインであること。
- 講座時間は30分から1時間程度。
- 講師謝礼は当協会負担。交通費と会場確保は利用者負担。

講師派遣

条件

- ・受講者10人以上
- ・県内どこでも
- ・営利を目的としないこと
- ・同一受講者でのご利用は年3回まで
- ・1回の派遣で講師2名

内容

利用者の要望に応じて、講座の内容を調整しますが、講師の出身国の文化・生活習慣・社会情勢又は講師から見た日本の印象等について話してもらいます。

費用

- ・講師交通費
- ・会場の確保

内容 2

- 料理や語学講座など異文化理解との関係性が低いもの。
- 講座の内容や受講者数、実施時間等制限なし。
- 講師謝礼と交通費、会場確保など利用者負担。

講師紹介

SPIRA職員派遣

～職員派遣による講座テーマ(例)～

- 県内外国人住民の現状と課題
- やさしい日本語講座
- 多文化共生の地域づくり
- 災害対応ガイドブック講座

費用

無料

A	多文化共生理解出前講座・事例紹介	循誘校区 人権・同和教育推進協議会	SPIRA職員派遣事例
実施日	2021/11/24 (水)	対象者	地域住民15人
講師	チュニジア・佐賀県国際交流協会職員	テーマ	外国人の人権を考える

◎ 授業のねらい

多様な主体がお互いに連携し、支え合う共生社会を実現するため、文化等の多様性を認め、言語、宗教、生活習慣等の違いを正しく理解しこれらを尊重する。

📖 授業の内容 (概要)

- ・チュニジアの国紹介
- ・パワーポイントを使って、国の概要や、文化、言葉、料理、民族衣装などを紹介
- ・外国人が困った佐賀での生活、言葉、習慣等
- ・やさしい日本語を使って外国人と会話をするときの問題点

💬 実施者の感想 (抜粋)

・外国人の方と直接触れ合う機会が初めての方が大半であり、楽しい、わかりやすい学習会でした。

・より身近に、外国の方々が生住されている事を感じられました。今後、外国の方と触れ合う機会があれば積極的に参加していきたい。

・やさしい日本語についても心がけて使うように努力していきたい。



😊 受講者の感想 (抜粋)

- ・チュニジアは思いのほか経済、文化が高度に感じられました。
- ・外国人の方が直接来ていただき、講話してもらい本当に楽しい分りやすい学習会でした。改めて、身近に外国の方が住んでいることを実感しました。
- ・チュニジアの国のことを知らなかったので、とても勉強になりました。
- ・外国人の話を聞く機会がないので、良い機会をもらったと思います。
- ・国際化が進み身近な存在の国の方々から学習ができ大変参考になりました。
- ・やさしい日本語は心がけてつかいたいです。



A	多文化共生理解出前講座・事例紹介	多久市立東原庁舎中央校	
実施日	2022/1/14 (金)	対象者	小学4年～6年 93名
講師	ニュージーランド	テーマ	異文化を知ろう

◎ 授業のねらい

様々な「共生」をテーマに総合学習に取り組んできました。その一環として、外国の文化や日本に住んでいる外国出身の方の話を聞いて、「異文化共生」について考える学習をし、外国や外国語学習への興味関心を高めてもらいたいと考えています。

📖 授業の内容 (概要)

文化を中心に話していただきたいです。また、日本に住んでいて困っていることなど、話せる範囲で紹介していただけたらと思っています。

💬 実施者の感想 (抜粋)

ニュージーランドの生活や季節、生き物や歴史などを月ごとに写真で紹介していただきました。四季が日本と真逆であることや、日本とニュージーランドのつながり、その歴史的背景など、子どもたちとは大変興味をもって講座を聞いていました。最後は、講座でお話いただいたことを中心にパワーポイントを使ってクイズでニュージーランドの生活や文化について理解と親しみを深めることができました。日本と似ている部分や異なる部分など、日本とのつながりをもた



せながらのお話だったので、「もっと知りたい」「ニュージーランドに行ってみよう」という思いを持った児童もいました。

😊 受講者の感想 (抜粋)

- ・ニュージーランドは日本と気候が逆なので、お互いに旬の果物や野菜を送り合っているというつながりがあると初めて知りました。
- ・「ハカ」の応援が聞けてうれしかったし、迫力があって、いろいろな国の文化を知ってみたいです。
- ・今回学んだことは、自分の地域にも良いところがあるということと、ニュージーランドは優しい国だということと、地震で海面に出てきたアワビを海に返すのに300人でとったのがすばらしいと思いました。驚いたのは火山が40か所もあると聞いたときです。毎日地震が起きてるんじゃないかと思ったけど、違いました。そして、国が違っても「みんなちがってみんないい」ができています。自分もすっかりこの地域のいいところを見つけようと思いました。



B	国際協力理解出前講座・事例紹介	伊万里市立東陵中学校	
実施日	2019/1/31 (木)	対象者	1年生38人
講師	日本	テーマ	異文化を知り、日本、外国の良さを感じよう

◎ 授業のねらい

日本以外の国を知り、その国の良さを感じたり、改めて日本の良さについて考えたりすること、海外で働くことや生活することの良さや大変さを知ること等をねらいとして行った。

📖 授業の内容 (概要)

- ・セントルシアで青年海外協力隊として活動された講師をお招きしました。講義は3部構成で行われました。
- ①セントルシアの歴史や暮らしについて
- ②セントルシアでのボランティア活動について
- ③タオルで目隠しをし、全盲の体験

💬 実施者の感想 (抜粋)

日々、社会はグローバル化が進んでいますが、学校では、実際に外国の文化に触れる機会は少ないです。

今回の講座を通して「もっと海外のこと知ってみたい」と思った生徒が増えたようです。また、海外でのボランティア活動は、多くの困難がありながらも、ひた向きに現地の人のために活動された講師の話を聞いて、生徒たちは感激したようでした。

今後も生徒の知見を広め、キャリア形成に役立つような授業、指導をしていきたいと考えています。今回、その一環としてこの講座を開催できたのはとても有意義でした。

😊 受講者の感想 (抜粋)

- ・セントルシアという国を初めて知った。行ってみたいと思った。
- ・私も障害者の方を助けられるボランティア活動をしたいと思った。
- ・スティールパン(楽器)の音色がきれいだった。



B	国際協力理解出前講座・事例紹介	吉野ヶ里教育委員会	
実施日	2022/1/20 (木)	対象者	地域住民20人
講師	日本	テーマ	JICA体験談を通して国際理解、異文化理解を深める

◎ 授業のねらい

身近な生活の中で、外国の人と接することが多くなった今日、外国の人と偏見なく進んで交流し、共に認め合い支え合っていくという気持ちを持つことが求められます。途上国での体験に基づいたお話を通して、途上国の暮らしや文化、現状や課題等を知ること、理解を深め偏見をなくせればと思います。

📖 授業の内容 (概要)

- ・途上国でのJICAボランティア体験談
- ・国際理解、異文化理解につながるような途上国での暮らしや文化、現状や課題についての話。

💬 実施者の感想 (抜粋)

国際理解講座ではいつも外国の方からの話を聞いていました。今回、青年海外協力隊という仕事を通して、日本人の視点から外国のことを聞くことができました。多くの生徒が「日本では学校で学ぶことがいかに幸せであるか」を改めて実感したようです。また、青年海外協力隊という仕事について興味を持ち、世界に関心を寄せることができました。そして今後、世界の国々についてもっと調べてみたい、外国で働いてみたいという夢や目標を持つことができました。



😊 受講者の感想 (抜粋)

- ・人のために仕事をされていたことがよくわかり頭が下がります。
- ・すばらしい。海外で15歳からの思いを貫いて、敬服します。
- ・タンザニアの任地での国の事情、病院事情が詳しく理解できた。
- ・JICAの仕事がよくわかり、素晴らしいと思った。開発途上国が153か国もあると聞き、日本は良い国で幸せだと思った。
- ・自分にも何かできることがあるのかな。SDGsのことについても、もっと知りたいと思った。
- ・長い夢の実現、すごい。思い切った行動、大役をお疲れさまでした。このような活動をされていたこと、勉強になった。
- ・ボランティアにもいろいろで言葉の違いがある中で大変だったろうと思ひ、素晴らしいなと思った。世界には、日本人が行ってその国のために力を発揮している国がたくさんあることを知った。
- ・貴重な体験のお話、ありがとうございました。

